

2022年12月8日

首都圏鉄道初！「クレジットカードのタッチ決済」を活用した乗車券サービスに関する実証実験を2023年夏より開始
「QRコード」の実証実験もあわせて実施し、沿線のリアル体験を相互につなぐ乗車券サービスにより沿線の生活価値を向上します

東急電鉄株式会社
東急株式会社
三井住友カード株式会社
日本信号株式会社
QUADRAC株式会社

東急電鉄株式会社(以下、東急電鉄)、東急株式会社(以下、東急)、三井住友カード株式会社(以下、三井住友カード)、日本信号株式会社(以下、日本信号)、QUADRAC株式会社(以下、QUADRAC)は、2023年夏より東急線でVisaをはじめとする「クレジットカードのタッチ決済」および「QRコード」を活用した企画乗車券の発売や改札機の入出場に関する実証実験(以下、本実証実験)を開始します。なお、「クレジットカードのタッチ決済」を活用した乗車券サービスに関する実証実験は首都圏の鉄道事業者で初の取り組みです。2023年夏に一部先行駅(田園都市線を中心とした各駅)、2024年春に東急線全駅を対象に実施する予定です。

東急電鉄は、ライフスタイルの変化に対応し、時代にあった社会的価値を持続的に提供することを目指し、域内移動需要の創出を目的とした新たな乗車券サービスとして、2021年以降、シニア層を対象とした全線乗り放題デジタルチケット「東急線乗り放題パス(over60)」、小児のお客さまが100円で東急線1日乗り降り自由になる「東急線キッズ100円パス」、東急線沿線情報誌「SALUS」と連携したデジタルチケットの配布を実施しています。

今般、鉄道利用において、既に多くのお客さまにご利用いただいている交通系ICカードを主軸としつつ、よりスピード感をもって多様な乗車券サービスを提供することを目的として、世界の主要国で広く普及しているVisaなどのクレジットカードのタッチ決済やQRコードを活用した乗車券サービスに関する実証実験を実施します。沿線にお住まいの方だけではなく、今後インバウンドの回復も期待される訪日外国人を含む東急線沿線の来街者も、使い慣れたクレジットカードやスマートフォン1つで場所を選ばずさまざまな企画乗車券を購入、シームレスに利用でき、東急線をより便利にご利用いただけます。

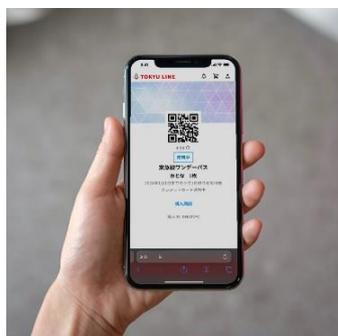
本実証実験では、連名各社が協働し、「人」「まち」「交通」をデジタルでつなぐ「デジタル乗車券プラットフォーム」の構築を目指します。また、乗車券販売サイトは、東急のDX特別組織「Urban Hacks」が構築を予定しており、サイト上で企画乗車券を事前に購入することで、タッチ決済に対応したクレジットカードもしくはスマートフォンに表示されたQRコードを、入出場時に対象となる改札機の読取部へかざすことで改札を通過することができます。タッチ決済に対応したクレジットカードを使用した改札機の通過などのサービス構築には、三井住友カードの提供する公共交通向けソリューション「stera transit(ステラ トランジット)」を東急線に導入することで実現します。また、本実証実験ではタッチ決済に対応したクレジットカードを使用した後払いも可能となるほか、地域やグループの商業施設などと連携し、シームレスでお得なサービスを検討していきます。

5社は、本実証実験を通して、鉄道サービスを基軸とした、安全・安心で、便利な沿線生活価値の提供により、人々の交流を促し、持続的なまちの発展に貢献していきます。詳細は別紙の通りです。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標・JIS、ISO規格です



▲タッチ決済可能なVisaカード



▲QR乗車券イメージ

以上

【別紙】

■実証実験の概要 ※詳細はサービス開始前に、改めてお知らせします

1. 目的

- ① 東急線ご利用のお客さまのニーズや時代の変化に、柔軟に対応した乗車券サービスの提供
- ② 既に多くのお客さまにご利用いただいている交通系ICカードを主軸としつつ、スマートフォン・クレジットカード1つで完結するライフスタイルの提供

2. 開始時期

2023年夏

3. 対象路線・駅(予定)

2023年夏 一部先行駅(田園都市線を中心とした各駅)

2024年春 東急線全駅

4. 提供サービス(予定)

実証実験では、以下のサービスを準備ができ次第、順次提供します。

提供サービス	内容
クレジットカードなどのタッチ決済機能による乗車	乗車券販売サイトにて企画乗車券を事前に購入し、タッチ決済に対応したクレジットカードなどを入出場時に改札機にかざすことで改札を通過できます。また、タッチ決済に対応したクレジットカードを使用した後払いも可能になります。 ※対象ブランド: Visa以外の他ブランドについても導入を検討中です。 ※クレジットカード以外にデビットカードやプリペイドカードのタッチ決済もご利用いただけます。
QRコードによる乗車	乗車券販売サイトにて企画乗車券を事前に購入しスマートフォンに表示されたQRコードを、入出場時に改札機の読取部へかざすことで改札を通過できます。

5. 各社役割

- 東急電鉄株式会社 : 乗車券サービスの企画・販売
東急株式会社 : DX特別組織「Urban Hacks」による販売プラットフォームの構築
三井住友カード株式会社 : Visaのタッチ決済の導入支援、steraプラットフォームの提供
日本信号株式会社 : デジタル乗車券システムの開発
QUADRAC株式会社 : 交通事業者向けタッチ決済および認証に関するプラットフォームの提供

6. Visaのタッチ決済について

Visaのタッチ決済は、日本を含む世界約200の国と地域で展開されている国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。対応の端末にタッチ決済対応のVisaカード(クレジット・デビット・プリペイド)または、スマートフォンなどをタッチするだけで、サインも暗証番号の入力も不要(*)で、スピーディーかつ安心・安全にお支払いが完了します。ご利用頂ける店舗は、コンビニエンスストア、ファストフードレストラン、スーパー、飲食店、ドラッグストア、書店、百貨店、商業施設など、日常生活における利用シーンがますます拡大しています。国内のVisaのタッチ決済対応カードの発行枚数は、2022年9月末現在約8,700万枚、ご利用可能な端末数も150万台を超えており、公共交通機関では、既に世界580以上の都市で導入、国内においても多くのプロジェクトが進行中で、幅広いシーンで拡大しています。

※一定金額を超えるお支払いは、カードを挿し暗証番号を入力するか、サインが必要となります。

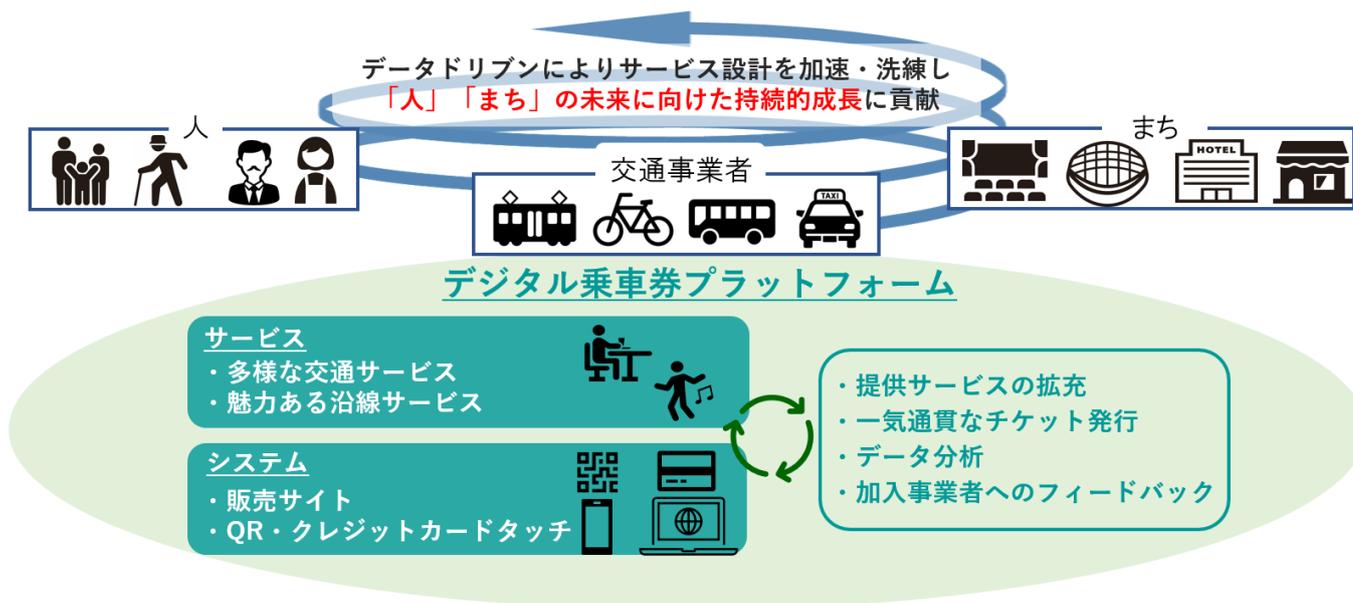
7. 公共交通向け決済ソリューション「stera transit(ステラ トランジット)」について

決済プラットフォーム「stera」は、キャッシュレス導入に際した課題を解決するため、三井住友カードが、GMOペイメントゲートウェイ・GMOフィナンシャルゲートおよびVisaと共同で構築した事業者向け決済プラットフォームです。「stera transit」は、「stera」の決済プラットフォームと国際ブランドの非接触決済「タッチ決済」を活用した公共交通機関向けソリューションです。

現金・事前チャージの必要がないという消費者の「利便性向上」に加え、「感染症予防対策」「インバウンド受け入れ環境の整備」「地域のキャッシュレス決済促進」など、交通分野にとどまらない幅広い効果も期待されます。また、「stera transit」の技術は、MaaSやスマートシティの認証基盤としても活用できます。今後も、全国各地で導入を予定しています。

stera
transit

8. デジタル乗車券プラットフォーム



【参考】

■移動需要創出の乗車券サービス事例

	期間	内容
第一弾	2021年11月	シニア層の方々を対象に、1か月東急線が乗り降り自由になる電子乗車券「東急線乗り放題パス(over60)」を発売。
第二弾	2022年6月～8月	小児のお客さまを対象に東急線が1日乗り降り自由になる「東急線キッズ100円パス」を発売
第三弾	2022年10月～	SALUS掲載店舗と連携したデジタルチケットの配布を実施 (現在は都立大学駅周辺店舗と連携実施中)

■DX特別組織「Urban Hacks」

東急は、テクノロジーで街を豊かにするDX特別組織「Urban Hacks」を2021年7月に設立し、新たに専門人材30名超を迎え、デジタルサービス・プロダクトの内製開発を推進しています。専門人材採用から約1年で、当社グループ3社のスマートフォンアプリなどを開発し、サービスの提供を開始しました。

Urban Hacksホームページ: <https://10q89s.jp/>

以 上